



連合会は環境、安全、福祉、地域交流をテーマに活動しています。

地元を少しでも、安全で暮らし易くするために・・・😊

4月8日(月)各小学校の入学式では多くの子どもたちを迎えました。北小でも150人を超える新たな子どもたちが元気に通学しています。・・・ここでも地域の見守り力が必要としています。

春の全国交通安全運動

4月6日から15日まで、春の交通安全運動として航研前交差点で10日間活動を行う。期間中には活動巡視で市長、市議会議員長副議長、交通対策課及び総合防災安全課担当が来訪されました。また、北小通学路(北町、希望の家深大寺前)では、教育委員会、道路管理課、調布安協の協調から、交通安全のぼり旗6本を掲示できました。結果、見守り関係者からの反応は良好であり、他の通学路でも準備に向け動きたい。



2月、市立20校、私立2校の計22校について学校周辺の通学路を調査。北小周辺は道が狭く、通学路指定あるものの居住車両を除くとしていることから、通り抜け車両が非常に多い上に、学校の周りには独立した歩道がない。子どもたちの安全を図るためのスクールゾーン規制もありません。

従来から通り抜け車両が多いと危険視されるも、子ども優先の安全対策が講じていないことから、地域の課題として再認識する必要があります。

1. スクールゾーンとは

子供の交通安全を図るために設定された交通安全対策の重点地域。小学校などを中心に半径約500m程度の通学路に設定される。車両通行禁止の時間帯には通行制限をされ、交通取り締まりの対象となります。

2. 通学路とは

各学校が児童・生徒の登下校時における交通の安全等を確保するため、登下校時に通行する道路として学校が指定している道路のことをいいます。居住車両は除くとされる事例が多く、現実的には制限できないことから、子どもの列に侵入となり危険と隣り合わせになります。

花いっぱい活動(深大寺東町)



両活動団体とも、市緑と公園課所管の花いっぱい運動事業費補助金制度を活用した活動で、毎年上期下期の年2回の補助申請をしている。対象は、草花の苗、種子、球根、花が咲く樹木の苗、肥料、土壌改良剤、スコップ等の器具、プランター等を範囲としている。



深大寺東第一自治会花いっぱいプロジェクト
場所:①とりで公園内、②三鷹通川歩道横
東町ガーデン(深大寺東自治会)
場所:すわくぼ児童遊園内(野ケ谷通り)

ふじみ地区自治会等連合会の1年間の活動

連合会は地域活動に関心のある方たちに積極的アプローチ、会報配布の拡大に努め、地域づくり・町づくりをPRしてきました。構成は8自治会を中心に、3月新たな活動グループを加え、7団体となりました。今後とも環境・安全・福祉・地域交流をコンセプトに、北部地域の交通、安全、道の課題について広く議論を図り、テーマ別に協調してゆくことを目指したいと思えます。

当会1年間の活動成果と幹事会、ミニ講座の開催実績について以下に示します。

II. ブランチ調布、ふじみ交流プラザの運営および周辺交通利便性の向上

- ① ブランチ調布運営協議会 F-Harmony に委員参加し、家族そば打ち等種々の活動を推進、協力。
- ② ふじみ交流プラザ運営について、事務所レイアウトの改善等協働推進課と協議。
- ③ 巡回バス実証実験について担当部署と改善策の協議及び翌年度への事業の一部延長を推進。
次期実証実験のデマンド交通についても三者協議の場で推進。

IV. ふじみ衛生組合周辺の環境監視とごみ減量活動

地元協議会及び専門委員会の両委員会に参加しリサイクルセンター更新計画等活発な討議を行った。調布市廃棄物減量及び再利用促進協議会に当会より委員各1名が参加し、調布市のごみ減量活動に貢献した。

開催日	会議名	出席者数	主要議題
5年4月4日	第163回幹事会	13名	前期実績と今期計画、
5年5月20日	第164回幹事会	12名	
5年6月21日	第165回幹事会	14名	ふじみまつり、通学路安全対策他
5年7月15日	第166回幹事会	15名	スタディールーム等原氏の等
5年9月16日	第167回幹事会	15名	北部地区デマンド交通実証実験他
5年10月21日	第168回幹事会	8名	秋の交通安全運動他
5年11月18日	第169回幹事会	8名	野ヶ谷通り安全問題他
6年1月20日	第170回幹事会	14名	野ヶ谷 CDC 事業の終了と来年度新体制発足予定の件他
6年2月17日	第171回幹事会	10名	北部巡回交通、JAXA 新研究棟建設
6年3月21日	第172回幹事会	13名	北小スクールゾーン化問題

4月15日	北部地域公共交通に関する新たな実証実験について (交通対策課 課長 塚田賢一郎氏)
7月15日	市民が考える次期デマンド交通の乗降ポイントについて (調布市北部地区まちづくり推進準備会 会長 富澤貴氏)
10月21日	北小通学路の安全を考えて (ふじみ地区自治会等連合会 会長 佐々木善信氏)
11月18日	北部地域公共交通に関する新たな実証実験について (交通対策課 課長 塚田賢一郎氏 課長補佐遠藤昌彦氏)
1月20日	三鷹通りJAXA沿い歩道及び北部地区デマンド交通実証実験の現状と今後について (都市整備部 参事 代田俊彦氏)
2月17日	子どもたちと楽しむために まんまる会 代表 高橋亜希子氏
3月16日	調布と三鷹の接点を作る奥深大寺まちづくり活動について (ブランチ調布 運営協議会 委員 藤川良弥氏)

ミニ講座 調布と三鷹の接点を作る奥深大寺まちづくり活動について

日程：3月16日 講師：ブランチ調布運営協議会運営委員 薩川良弥氏

講師は上記運営委員であるとともに 合同会社パッチワークスの代表として、各種イベントの企画・運営に当たり、深大寺門前でシェアオフィスも経営。各所のまちづくり活動に参画、ブランチ調布の諸行事の運営にも参画して当地域（奥深大寺と呼称）活性化にも尽力されている。今回はその一端をご披露いただいた。

奥深大寺とは深大寺の北部で調布・三鷹を含む漠然とした地域をイメージしている。狙いは駅前等の繁華街にない地域の魅力を住民の力を借りて発掘し、これを地域の住民に伝え、賑わい創出に寄与したいとのこと。定期的に会報を発行し、更に毎月第二金曜日夕方、コミュニティスペースにて「持ちよりバー」を主催している。



東京都、調布市防災助成制度の活用

深大寺東第一自治会は地域防災の準備として、東京都防災助成金を受け災害時の非常電源発電機とポータブル電源（太陽電池セット）を12月末に購入。また、調布市防災助成金を受けて非常用イレ凝固剤700包を購入。伊津野会長によれば、「都や市の助成について役員会等で協議、申請に踏み切る。手続きは少し手間取ったが、自らできる準備として補助金を活用、少しでも災害時に役立てたい」との思いを聞く。



アウトドア 非常時でも安心の定格出力1,000W出力の余裕電源貯場
50Hz・60Hz切換、充電回数2,000回以上・純正正弦波のBIGパワー

